

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図った。また愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子供たちへの支援活動や大震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人間形成を図ることを目的に開催した。

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 子どもゆめ基金助成活動「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援》

期 間 7月～8月・11月 ＜各2泊3日～3泊4日＞

開 催 数 5会場（あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、鹿児島、沖縄）

*瀬戸内海は台風接近のため中止、沖縄は台風接近のため延期し11月に2泊3日で開催

*あっさぶはゆめ基金対象外で実施

スタッフ等 127名

参 加 者 297名（内、障害児10名）

イ. 伊勢青少年研修センター主催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 ＜各3泊4日＞

開 催 数 2会場（富士山、関西）

スタッフ等 78名

参 加 者 186名

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 ＜各3泊4日＞

開 催 数 3会場（美幌、岐阜、北部九州）

*広島は西日本豪雨災害のため延期し、子どもWAKU×2ひろばとして開催

スタッフ等 130名

参 加 者 137名（内、招待障害児5名）

エ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①あっさぶ	志村 和也	真下 淳一	②桧原湖畔	谷野 渉	市島 寿里
③いばらき	保坂 正志	中野 淳一	④鹿児島	志村 和也	真下 淳一
⑤沖 縄	板倉 和也	小川 幸恵	⑥富士山	山崎 政弘	寺岡 賢
⑦関 西	山崎 政弘	寺岡 賢	わくわく	谷野 渉	板倉 和也

オ. 子ども自然体験等キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	7月 2日(月)～ 3日(火)	志村 和也
2	桧原湖畔	6月11日(月)～13日(水)	青木 富造 谷野 渉
3	いばらき	6月 6日(水)～ 7日(木)	保坂 正志
4	瀬戸内海	6月19日(火)～21日(木)	板倉 和也
5	鹿 児 島	6月27日(水)～29日(金)	志村 和也
6	沖 縄	7月 5日(木)～ 6日(金)	板倉 和也
	わくわく	5月21日(月)～22日(火)	青木 富造

カ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
⑧ 美 幌	保坂 正志	⑨ 友 愛	保坂 正志	⑩ 北部九州	久世 郁夫

キ. 印刷物の作成

①子ども自然体験キャンプリーフレットの作成

部 数 80,000部

体 裁 A4版6頁、4色刷

②子ども自然体験キャンプ報告書の作成

部 数 1,100部

体 裁 A4版80頁

(2) 子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)《子どもゆめ基金助成活動》【新規】

開 催 日 9月15日(土)～17日(月・祝) <2泊3日>

*8/8～10 開催予定を台風接近のため延期開催

開 催 地 ばんだいふれあいぴあ

キャンプ長 1名(三瓶利正)

炊 事 2名(小松純子、白倉由美)

スタッフ 3名(青木富造、谷野渉、板倉和也)

参加者数 42名(リーダー11名、キャンパー31名)

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

《第1回》

開 催 日 12月26日(水)～30日(日) <4泊5日>

開 催 地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート)

指導者等 8名(指導員:高橋源一郎、相田好美<各SAJスキー指導員>

講師等:青木富造、板倉和也、谷野渉

炊事員:小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳)

参加者数 84名(リーダー19名、キャンパー56名、ボランティア1名)

*スキーキャンプリーダー研修会

開 催 日 12月24日(月)～26日(水) <2泊3日>

スタッフ 2名(青木富造、谷野渉)

参 加 者 12名

《第2回》

開催日 3月26日（火）～30日（土） ＜4泊5日＞
 開催地 福島県（ばんだいふれあいびあ及び箕輪スキー場）
 指導者等 9名（指導員：高橋源一郎、相田好美〈各SAJスキー指導員〉
 講師等：武藤真希、青木富造、板倉和也、谷野渉
 炊事員：小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳）
 参加者数 65名（リーダー18名、キャンパー47名）

*スキーキャンプリーダー研修会

開催日 3月24日（日）～26日（火） ＜2泊3日＞
 スタッフ 1名（板倉和也）
 参加者 13名

イ. 報告書の作成

部 数 150部
 体 裁 A4版

（4）子ども週末体験活動《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動を行った。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

開催数 12会場 ＜各1日～1泊2日＞
 講師 21名
 参加者 163名

イ. 子どもWAKU×ひろば

開催数 11会場 ＜各1日～2泊3日＞
 講師 72名（講師17名、青年指導者55名）
 参加者 429名

（5）夏期少年少女合宿講習会（各地青年会議所等共催） 会場：伊勢青少年研修センター

期 日	名称	参加者
7月23日（月） ～25日（水）	寺子屋伊勢合宿講習会	53名
7月23日（月） ～25日（水）	樫原ジュニアサマースクール	79名
7月27日（金） 29日（日）	第28回岸和田少年少女サマースクール	42名
7月31日（火） ～8月2日（木）	第47回伊勢少年少女合宿講習会	104名
合計	4回	278名
前年度	4回	258名

(6) 第14回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月8日(土)～9日(日)＜2日＞
会場 伊勢青少年研修センター
対象 小学3年生以上の子どもと大人
参加人数 98名

2. 子どもボランティア推進活動

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感した。お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人間形成に寄与する活動を行った。

(1) 第4回SYDきらめきメッセージ全国コンクール《文部科学省後援》

あなたが体験したきらめき、ブレイクスルー(壁を乗り越え前進すること)、自分の中の奇跡…、そこから生まれた思いやメッセージを発表することにより、青少年のやる気、元気を育てることを目的に開催した。

応募総数3,952点の中から事前審査で15点が選ばれ、全国コンクールで14名が発表し、最終審査の結果、下記受賞者が決まった。

開催日 平成31年2月10日(日) 12時40分～14時30分
会場 SYDホール
審査委員 8名：御手洗康、山崎一紀、安仁屋聡、古賀克彦、石田博嗣、両家優子、宝井琴柑、青木富造 ※欠席：明石要一、田中浩史
受賞者 15名
・文部科学大臣賞1名 保田 健太(神奈川県・社会人)
・理事長賞1名 齋藤美珠穂(宮城県・高2)
・優秀賞3名 河野 愛伽(広島県・小5)
近藤 結唯(東京都・高1)
三笠 晴香(山口県・高3)
・きらめき賞10名 久保田 健(千葉県・小3)、末吉 麻美(沖縄県・小6)
板垣 諒(秋田県・小6)、池川 友菜(香川県・中2)
橋田樹理愛(高知県・中2)、川瀬明日香(東京都・中3)
根岸 美葉(群馬県・高1)、三木 想真(沖縄県・高3)
白井 基晴(神奈川県・大1)、河原 紫織(広島県・社会人)

(2) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

地域、学校(生徒会・ボランティア部)、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介する。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人へ感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座》の実施

〈別表-3〉

開催数 58会場
派遣講師 各会場に1～2名(青木富造、山口千恵子、谷野渉)
体験発表者 3会場に各1名(島袋桃子、江種三咲、信濃理久)
参加者 6,295名

イ. パンフレットの作成・配布

部 数 14,000部
体 裁 A4版8頁、4色刷

(3) 東日本大震災被災地訪問青少年ふれあいボランティア

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》 **〈別表-4〉**

被災者の暮らす復興住宅・仮設住宅を訪問し、手作りのカレーやコーヒー等を提供するなかで、協力し合い、話し合い、喜びを分かち合う活動を行った。また、ゲームや遊びにより子どもたちの歓声がこだまするような至福の時間を共有する活動を行い、青少年がボランティア活動の真の喜びを体感し、思いやる心や豊かな人間性・社会性を高め、自ら考え・行動する力を育むことを目的に開催した。

期 間 5月～平成31年1月 <各2泊3日>
開 催 数 7回
活動場所 宮城県内の復興住宅・仮設住宅
スタッフ 26名
参 加 者 116名（リーダー14名、参加者102名）

(4) 西日本豪雨災害ボランティア in 広島

《第1回》

期 日 8月15日(水)～19日(日) <4泊5日>
活動場所 広島県坂町小屋浦地区
協 力 SYD広島県連合会
スタッフ 2名（青木富造、板倉和也）
参 加 者 18名

《第2回》

期 日 9月25日(火)～28日(金) <3泊4日>
活動場所 広島県坂町小屋浦地区
協 力 SYD広島県連合会
スタッフ 3名（青木富造、板倉和也、谷野渉）
参 加 者 11名

(5) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-5〉

期 間 5月～平成31年2月 <各回とも18:30～21:00>
開 催 数 8回
会 場 SYD会議室
講 師 8名
出 席 者 176名

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を実践し、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

福祉・災害ボランティア活動の心構えや基本的技術を習得し、福祉施設や公共施設、震災で避難生活を余儀なくされている仮設住宅等での社会奉仕体験活動を実践し、社会奉仕体験活動の楽しみや喜びを体得することによりボランティア精神を涵養し、指導者として資質の向上を図った。

《第1回》

開催日 7月29日(日)～8月3日(金) <5泊6日>
会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地復興住宅ほか
講師 1名：遠藤信幸（町立三春病院ケアワーカー）
スタッフ 6名：山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉
参加者 30名（全国の中・高校生等）

《第2回》

開催日 平成31年3月31日(日)～4月5日(金) <5泊6日>
会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか
講師 1名：遠藤信幸（町立三春病院ケアワーカー）
スタッフ 6名：山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉
参加者 30名（全国の中・高校生等）

※「全国青年ボランティア・アクション in 福島」事前調査

期 日 6月11日(月)～13日(水) <2泊3日>
派遣者 青木富造、谷野渉
会場 福島県下(喜多方市、会津若松市 他)

(2) 全国青年ボランティア・フォーラム 《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

幅広い分野でのボランティア活動についての協議を行い、ボランティアグループの活性化や老壮青の幅広い年代層を取り込んだボランティアを模索し、実践する青年リーダーの育成を図った。

開催日 10月6日(土)～8日(月・祝) <2泊3日>
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
指導者等 5名：山崎一紀、青木富造、山口千恵子、板倉和也、谷野渉
参加者 20名（全国の中・高校生等）

(3) 全国青年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ボランティア活動や活動の中での気づきや思いを発信する機会として開催し、そこから明るい社会を築くためには、あるいは周りや自分自身を輝かせるために何ができるかを考え、今後の活動の促進を図るための青年リーダーを養成に努めた。

開催日 平成31年2月9日(土)～11日(月・振) <2泊3日>
会場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター
講師 1名：勝又大輔
指導者等 5名：青木富造、山口千恵子、市島寿里、板倉和也、谷野渉
実行委員 5名：組織の代表者および有志（高校生以上の青年）
参加者 31名（全国の青少年および青少年指導者）

★SYD創立113周年記念全国青年フェスティバル来場者

開催日 平成31年2月10日(日) 12時30分から16時00分

会場 SYDホール

来場者 139名 ※以下内訳

来賓(文部科学省1名、奨励賞審査委員1名)	2名
きらめきメッセージ全国コンクール審査委員	8名
SYDボランティア奨励賞(受賞者・関係者)	22名
きらめきメッセージ全国コンクール(発表者14名、引率応援23名)	37名
全国青年ボランティア・フェスティバル参加者	32名
青春パフォーマンス(日本体育大学チアリーディング部)	20名
一般(組織関係13名+青年部関係5名)	18名

(4) 指導者養成事業報告書の作成

部数 800部

体裁 A4版

(5) SYD指導者資格認定制度

愛と汗の精神を理解し、自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目的に実施する各種事業参加者に指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図った。

4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため講師の派遣や活動資金の助成をした。

(1) 青少年活動(キャンプ)担当者的会議

開催日 5月5日(金・祝)～7日(日) <2泊3日>

会場 ばんだいふれあいぴあ(福島県)

講師 1名(宝井琴柑)

スタッフ 3名(青木富造、板倉和也、谷野渉)

参加者 14名(各地青少年活動〈キャンプ〉担当者)

5. 関係機関・団体との協力(会議出席等)

〈別表-6〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなどの活動を行った。

Ⅱ. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動(サポーターシッププログラム)

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山で働く子どもたち(スカベンジャー)やマニラ市のストリートチルドレン(路上で生活する子どもたち)を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、自ら生きる意味を模索し、国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、国際協力における実践力を培い、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

(1) 青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日 8月21日(火)～27日(月) <6泊7日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)
スタッフ 青木 富造、山口 千恵子
参 加 者 32名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)
主な活動 ケソン市パヤタス、マニラ市ハッピーランド、サンマテヨ市を訪問し
極貧の中で暮らす子どもたちを訪問し、交流・支援活動を行うとともに、
ゴミ捨て場周辺で暮らす子どもたちとその家族を遊園地や動物園に招待
するなどの活動を行った。

(2) フィリピン支援者訪問ボランティア

期 日 9月21日(金)～24日(月・祝) <3泊4日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)
スタッフ 青木 富造、山口 千恵子
参 加 者 14名
主な活動 ケソン市パヤタス、マニラ市ハッピーランド、アロマ地区ゴミ集積所を
訪問し極貧の中で暮らす子どもたちと交流・支援活動を行うとともに、
ゴミ山周辺で暮らす子どもたちに学用品の配布と食料を提供した。また、
長年学資支援をしている子どもたちとの再会・交流も行った。

(3) 青年ボランティア・アクション in フィリピン 支援バッグ作成作業

期 日 8月9日(木)、10日(金)、11日(土) <3日間>
参 加 者 52名(9日:20名、10日:16名、11日:16名)

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジル青少年指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢市での少年少女
講習会や福島県での子ども自然体験キャンプなどの参加・研修することにより、ブラジ
ルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図った。

期 日 7月17日(火)～8月15日(水) <30日間>
招 聘 者 上村セリナ利恵(30歳・自営業)
主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

(2) ブラジル修養団指導者日本研修

期 日 平成31年2月5日(火)～25日(月) <21日間>
招 聘 者 土井 尚 ニコラウ(68歳・自営業)
主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

(3) ブラジルへの指導者派遣

ブラジル修養団の要請に応じて指導者を派遣し、日伯文化協会等と連携しながら
開催される少年少女講習会や教育講演会及びブラジル修養団青年指導者研修会等に
従事した。

期 日 平成31年1月8日(火)～2月7日(木) <30日間>
派 遣 先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリング他)
派 遣 者 青木富造(常務理事・講師)
主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1月11日～13日	モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	151名	60名	211名
1月18日～20日	スザノ少年少女講習会	168名	77名	245名
1月22日～24日	アサイ少年少女講習会	131名	38名	169名
1月25日～27日	マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	51名	45名	96名
1月29日～31日	ロンドリーナ リーダー養成研修会	57名	25名	82名
2月 1日～ 3日	マリング修養林間学校	106名	55名	161名
2月 2日	マリング講演会	65名		65名
2月 9日～10日	リーダー研修会	39名	18名	57名
合 計		768名	318名	1,086名

公益 2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会 (定例講習会)

〈別表-7〉

開催数 10回 <各3泊4日>

参加者 323名 (平均32名、定員各60名)

対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

(2) みがく特別講習会

〈別表-7〉

開催数 5回 <各1泊2日>

参加者 452名 (平均90名、定員各100名)

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日(月)～17日(水) <2泊3日>

B：神嘗祭コース：10月16日(火)～17日(水) <1泊2日>

参加者 A：67名(定員50名) B：29名(定員50名) 計96名

対 象 一般社会人

イ. 初詣新春の集い

期 日 平成31年1月7日(月)～8日(火) <1泊2日>

参加者 43名(定員80名)

(4) 受託講習会

〈別表-8〉

開催数 21回

参加者 1,056名

(5) 一般研修会

〈別表-9〉

開催数 18回

参加者 984名

(6) 講師派遣(講演・講習活動)

〈別表-10〉

開催数 39回

参加者 4,584名

2. 関東・東北地区等講習会

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月11日(水)～13日(金) <2泊3日>

会 場 レイクサイド磐光(福島県)

参加者 77名

講師等 白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、谷野渉

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成31年2月6日(水)～8日(金) <2泊3日>

会 場 レイクサイド磐光(福島県)

参加者 13名

講師等 鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也

(3) 受託セミナー

〈別表-11〉

ア. 新入社員セミナー

① 1日コース

開催数 2回

参加者 86名

② 1泊2日コース

開催数 3回

参加者 342名

③ 2泊3日コース

開催数 5回

参加者 175名

イ. ブラインドウォークセミナー

① 半日コース

開催数 2回

参加者 150名

ウ. パート社員セミナー

① 1日コース

開催数 8回

参加者 496名

エ. 一般社員セミナー等

① 1日コース

開催数 5回

参加者 91名

② 1泊2日コース

開催数 14回

参加者 798名

オ. 講演会

開催数 1回

参加者 450名

2. 企業組織訪問

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
9月25日(火) ～27日(木)	北陸地区(福井県・富山県・石川県) 近畿地区(京都府) 中部地区(岐阜県)	10社	根岸
10月15日(月) ～16日(火)	茨城県下(ひたちなか市・日立市) 福島県下(いわき市)	11社	根岸
10月23日(火) ～26日(金)	福島県下(白河市・郡山市・本宮市・田村市他) 栃木県下(栃木市)	27社	根岸・志村
合 計	3回	48社	

*連合会・クラブ、企業・青少年団体等の主催講習会・講演会

〈別表-12〉

(1) 講習会

開催数 71回

参加者 3,491名

(2) 講演会

開催数 41回

参加者 4,908名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭《共育》セミナー

親や大人が子どもと共に育ち、家庭や学校・地域、関係団体等が連携・協力して共に子どもや青少年を育てるためのセミナーを開催した。プログラムは、“地域の特色を活かし” “楽しい子育て” をコンセプトに、実施地域の実情に添って実施した。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	出張者
10月 4日(木)	神奈川県 横浜市	崎陽軒工場 ほか	まちネット千修会	38名	根岸秋吉 志村和也
11月 2日(金)	新潟県 新潟市	豊栄地区 公民館	修養団豊栄 共催：修養団新潟県連合会	37名	保坂正志
11月 4日(日)	東京都 品川区	きゅりあん	SYD本部	25名	保坂正志
11月17日(土)	福島県 郡山市	小山田幼稚園	小山田幼稚園 共催：修養団福島県連合会	160名	根岸秋吉
2月 3日(日)	香川県 高松市	香川県 教育会館	修養団香川県連合会	36名	久世郁夫 保坂正志
3月 8日(金)	福島県 田村市	船引公民館	修養団たむら 共催：修養団福島県連合会	29名	根岸秋吉
3月 9日(土)	三重県 伊勢市	伊勢青少年 研修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会 青年部灯会 修養団伊勢いなほの会	27名	久世郁夫 保坂正志
3月10日(日)	埼玉県 小川町	八和田公民館	修養団八和田親和会 共催：修養団埼玉県連合会	53名	志村和也
合計	8回			405名	

2. 親子で楽しむ漁業体験！

漁業体験を親と子がともにする中で、多くの人や自然に生かされていることを実感しながら、子どもたちの自主性や協調性を育み、親子の絆を深める機会とした。

開催日	開催地	会 場	実施内容	参加者数	スタッフ
5月26日(土) ～27日(日)	宮城県 石巻市	狐崎漁村センター 狐崎漁港	カキ剥き、刺し網漁体験、 魚釣り、貝殻クラフトなど	26名	保坂正志 志村和也 谷野 渉
9月 8日(土) ～ 9日(日)				39名	根岸秋吉 志村和也 谷野 渉
合計	2回			65名	

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブを実施団体とし研修会形式を用いて各地で開催。合わせて会員組織の活性化や後継者育成、会員拡大を図った。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講 師
9月21日(金)	福島県 北塩原村	グループホーム さくら	修養団愛汗喜多方 共催：修養団福島県連合会 協力：修養団山都愛汗の会 後援：医療法人佐原病院 福島民報社 ほっと・ねっと社	21名	久世郁夫 志村和也
10月20日(土)	北海道 美幌町	美幌町 しゃきっとプラザ	修養団美幌会	25名	山崎一紀 保坂正志
11月 2日(金) ～ 3日(土)	新潟県 新潟市	菱風荘ほか	修養団新潟県連合会	13名	保坂正志
1月19日(土) ～20日(日)	岐阜県 大垣市	大垣公民館	修養団岐阜県連合会 青年部灯会	16名	保坂正志 志村和也
合 計	4回			75名	

(2) 第10回「チャリティー演芸会」今年は七夕前夜祭だ！の巻

ーストリートチルドレン支援ー

日 時 7月6日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

出演者 立川らく次、台所おさん、春風亭ぴっかり、立川志の太郎

参加者 102名

係 員 15名(ボランティア・職員)

※収益金170,292円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 第2回「『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート」

ーストリートチルドレン支援ー

昨年に続きNPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートがおこなわれ、12曲が披露されたほか、特別企画として、SYDがおこなっているフィリピンでの支援活動を映像を交えて紹介した。

日 時 10月12日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

参加者 125名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円、江尻弘子、石川武、鵜飼ひろみ

※収益金861,282円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) SYD「チャリティーバザー」ーストリートチルドレン支援ー

関係企業・団体およびクラブ・連合会等からの名産品や野菜等を会員ボランティア25名と役職員が係員となって格安で販売し、合せてSYD青年部による「夏期事業写真展」を実施した。また、野菜提供にご協力くださった修養団埼玉県連合会の会員41名が来場した。

期 日 11月10日(土) 12時00分～14時00分

会 場 SYDビルエントランスホール及びSYDホールなど

参加者 300名(近隣住民および会員など)

※収益金131,120円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第7回「全国修養団運動推進会議」の開催

日 時 6月2日(土) 13時～17時30分

会 場 SYDホール

出席者 62名

主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人 39名

オブザーバー 2名

役職員 21名

内容等 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画の概要について説明をおこなった。続いて、会員組織活動活性化のために参加者全員がそれぞれ5つの分科会(「自然体験活動」「週末体験活動」「家庭教育活動」「愛汗実践塾」「幸せの種まきの実践(日常活動等)」)に分かれて、熱心に協議をおこなった。終了後、各分科会から報告がおこなわれた。

(2) 講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。 回数:16回

*下記は、開催日、事業名、参加者数、会場、派遣者名の順

4月22日 修養団新潟県連合会「平成30年度定期理事会・役員総会」

15名(新潟市・新潟東映ホテル)

【山崎、保坂】

4月22日 修養団広島県連合会「総会」

16名(坂町・老人ホームたかね荘こやうら)

【根岸】

※席上、「SYD福山・尾三クラブ」「SYD三ツ矢クラブ」「SYD安芸親和クラブ」の発会式を実施した。

5月19日 SYDボランティア友の会「第11回総会」

7名(SYD会議室)

【久世、真下】

6月 2日	修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」 32名（東京都渋谷区・福臨門）	【山崎、久世ほか】
6月 9日	修養団愛汗郡山「第13回定例総会・理事会」 8名（郡山市・花の祥）	【保坂】
6月10日	修養団鹿児島県連合会「平成30年度総会」 20名（鹿児島市・加治屋町町民館）	【山崎】
6月15日	修養団愛汗喜多方「平成30年度総会」 18名（喜多方市・厚生会館）	【根岸】
6月16日	SYD東京ネイチャークラブ「新緑の紫陽花寺バスツアー」 31名（埼玉県嵐山町、小川町）	【志村】
6月17日 ～21日	修養団岐阜県連合会青年部灯会「皇居勤労奉仕」 27名（東京都・皇居ほか）	【小川】
6月20日	修養団山都愛汗の会「平成30年度総会」 22名（喜多方市・山都開発センター）	【保坂】
7月11日	修養団神奈川県連合会「第37回定期総会」 8名（横浜市・日立システムズはせがわビル）	【久世、保坂、小川】
7月12日	修養団福島県連合会「平成30年度通常総会」 27名（郡山市・ベルヴィ郡山館）	【山崎、根岸、志村】
7月20日	修養団日立システムズ五十鈴会「第30回定期総会」 13名（東京都・日立システムズ日本橋オフィス）	【根岸、小川】
12月23日	皇居参賀の集い実行委員会<神奈川県・千葉県・東京都各修養団連合会> 「天皇誕生日奉祝～皇居参賀の集い」 67名（東京都・皇居）	【保坂、小川、志村】
2月20日 ～26日	SYDボランティア友の会「第32回沖縄戦遺骨収集ボランティア」 52名（沖縄県糸満市・山雨の塔、南北の塔）	【真下】
3月11日	修養団東松山向上会「箭弓稲荷神社清掃奉仕と講演会」 《後援：修養団埼玉県連合会》 35名（埼玉県東松山市・箭弓稲荷神社）	【久世】

（３）喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師派遣事業」への支援

要請により、講師を派遣した。

7月10日	『蓮沼門三翁の教え』学習講演会 13名（喜多方市堂島小学校）	【久世】
1月20日	「豊川町民新春交歓会教養講座」 80名（喜多方市豊川公民館）	【宝井琴柑、久世】
1月30日	『総合的な学習』授業 70名（喜多方市立第一小学校）	【久世】

（４）講演会への講師派遣

6月10日	楊名時太極拳掘道場「幸せの種まき講演会」 《後援：修養団鹿児島県連合会》 6名（鹿児島県薩摩川内市・掘道場）	【山崎】
-------	--	------

（５）皇居勤労奉仕の集い(実施：伊勢青少年研修センター)

ア．第1回

期 日	5月21日(月)～25日(金)	<4泊5日>
スタッフ	2名（寺岡賢、山崎政弘）	
参加者	42名	

イ. 第2回

期 日 6月25日(月)～29日(金) <4泊5日>
スタッフ 4名(武田数宏、保坂正志、寺岡賢、山崎政弘)
参加者 42名

ウ. 第3回

期 日 11月26日(月)～30日(金) <4泊5日>
スタッフ 3名(寺岡賢、山崎政弘、中山貴生)
参加者 33名

(6) 「修養団創立113周年を祝う集い」への支援

神奈川県(担当連合会)・千葉県・東京都各連合会の合同主催で実施され、その支援をおこなった。

期 日 2月10日(祝・日)
会 場 SYDホール
内 容 記念式・修養団年次功労者表彰
記念講演「当たり前にありがとう」
〈SYD伊勢青少年研修センター所長・武田数宏〉
祝賀会
参加者 78名
(内訳) 関東地区連合会関係者 25名
全国青年ボランティア・フェスティバル参加者 35名
修養団役職員 18名

(7) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金を交付した。

6月16日 SYD東京ネイチャークラブ「新緑の紫陽花寺バスツアー」
27名(埼玉県比企郡) ※助成金額3万円
3月 9日 修養団伊勢いなほの会会報「たわわ(第11号)」発行
※助成金額3万円

(8) 諸団体との連携

5月28日	千修会「理事会」(SYD会議室)	【根岸】
6月18日	千修会「平成30年度定期総会」(SYD会議室)	【根岸】
11月 1日	第74回田澤義鋒記念会総会(明治神宮会館)	【久世】
12月13日	千修会「理事会」(SYD会議室)	【根岸】

3. 会員状況と会員組織

当年度より「みがく特別講習会」受講者に原則、向上会員となっていた。また、諸事業において会員申込案内パンフレットを配布、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

(1) 会員の現状**〈別表-13〉**

会員種別	当年度(31. 3. 31現在)	前年度(30. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	3 9 3	5 0 3	△ 1 1 0
愛 会 員	5 2 1	5 7 4	△ 5 3
向上会員	1, 6 0 5	1, 2 9 7	3 0 8
永生会員	1 0, 7 2 8	1 0, 7 2 8	0
合 計	1 3, 2 4 7	1 3, 1 0 2	1 4 5

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(31. 3. 31現在)	前年度(30. 3. 31現在)	増減
法人会員	9 7	9 8	△ 1
個人会員	1 3 8	1 5 8	△ 2 0
合 計	2 3 5	2 5 6	△ 2 1

VI. 幸せの種まき献金活動**1. 募金活動**

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。引き続いて東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、7月の西日本豪雨被害、9月の北海道胆振東部地震被害に対しても支援を呼びかけた。

単位：円

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
月計金額		392,615	555,338	303,136	1,296,773	758,754	181,766
《一般献金》		50,615	115,331	168,736	791,443	114,254	61,072
《指定献金》		342,000	440,007	134,400	505,330	644,500	120,694
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	0	28,446	0	40,766	0	18,004
	西日本豪雨被災者支援	0	0	0	212,564	196,500	10,000
	北海道地震被災者支援	0	0	0	0	0	0
	子ども学資支援	18,000	18,000	90,000	180,000	72,000	54,000
	大学生学資支援	0	3,151	20,400	28,000	342,000	4,690
	学校支援	324,000	390,410	24,000	44,000	34,000	34,000

		10 月	11 月	12 月	31 年 1 月	2 月	3 月
月計金額		557,092	1,253,554	826,299	242,636	169,674	249,386
《一般献金》		165,838	1,091,238	459,789	56,677	42,100	119,820
《指定献金》		391,254	162,316	366,510	185,959	127,574	129,566
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	68,444	31,026	0	22,044	0	50,000
	西日本豪雨被災者支援	15,131	10,000	0	0	0	0
	北海道地震被災者支援	128,500	15,000	0	0	0	0
	子ども学資支援	90,000	54,000	108,000	36,000	18,000	54,000
	大学生学資支援	0	8,290	32,760	77,848	8,450	5,151
	学校支援	89,179	44,000	225,750	50,067	101,124	20,415

		今年度合計	前年度合計
年間合計金額		6,787,023 (293 件)	5,506,389 (233 件)
《一般献金》		3,236,913 (119 件)	
《指定献金》		3,550,110 (174 件)	
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	258,730 (10 件)	
	西日本豪雨被災者支援	444,195 (42 件)	
	北海道地震被災者支援	143,500 (11 件)	
	フィリピン 子ども学資支援	792,000 (43 件)	
	大学生学資支援	530,740 (25 件)	
	学校支援	1,380,945 (43 件)	

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供47名、大学生4名の学資支援、子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、ブラジルの施設も支援した。また、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震の被災者への支援をおこなった。

〈東日本大震災被災者支援〉

(※＝全て指定献金／**＝一部指定献金)

- ・「SYD東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」
活動経費(※特別開催を含め7回分、食材費) 488,898 円**

〈その他の災害被災者支援〉

- ・広島県：「SYD西日本豪雨災害ボランティア in 広島」
活動経費(2回分) 182,331 円※
- ・広島県坂町：西日本豪雨災害支援金(修養団広島県連合会・石田会長持参) 400,000 円**
- ・北海道：北海道胆振東部地震災害支援金(北海道災害義援金募集委員会) 200,000 円**

〈ストリートチルドレン支援〉

- ・フィリピン：ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等)
(ボランティア・アクションinフィリピン、支援者訪問ボランティア) 900,000 円
- ・フィリピン：子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・47名) 846,000 円※
- ・フィリピン：大学生学資支援(スカベンジャー・4名) 720,000 円**
- ・フィリピン：「パンガラップ・ラーニング・スクール」
(学校運営支援・10万円×12ヵ月) 1,200,000 円**
- ・フィリピン：「マザー・テレサの家」(支援品) 34,469 円
- ・ブラジル：「コロニア・ベネーザ」(教育支援金) 70,000 円

〈福祉施設・団体支援〉

- ・福島県：介護老人福祉施設「北原荘」 30,000 円
- ・福島県：介護老人保健施設「天心ケアハイツ」 30,000 円
- ・福島県：山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」 30,000 円
- ・福井県：社会福祉法人「光道園」 50,000 円
- ・三重県：伊勢身体障害者「協和会」 80,000 円
- ・三重県：NPO法人「たまき末芳園」 80,000 円
- ・三重県：社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」 30,000 円
- ・三重県：生活介護事業所「わかたけ萩の里」 30,000 円

合 計 5,401,698 円

前年度合計 4,503,253 円

3. 幸せの種まき献金委員会の開催

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成30年 4月9日、5月10日、6月13日、7月11日、9月3日、
10月5日、11月5日、12月3日

平成31年 1月7日、2月4日、3月12日

(2) 報告書の作成・配布

平成29年度活動報告書(1,300部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々などに送付した。

公益3

Ⅶ. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,600	前へ踏み出す
5月号	2,600	笑顔になる時
6月号	2,600	幸せに気づく
7月号	2,600	挨拶からはじまる
8月号	2,500	つながる
9月号	2,400	向上する
10月号	2,300	育てる
11月号	2,500	ありがとう
12月号	2,400	大切な人
1月号	2,700	約束をする
2月号	3,100	視野を広げる
3月号	2,700	選択の時
合 計	31,000 部	(前年度32,800部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備 考
4月号	1,200	
5月号	1,200	
6月号	1,200	
7月号	1,700	「ふれあい特集号」511部含む
8月号	1,100	
9月号	1,200	
10月号	1,200	
11月号	1,700	「ふれあい特集号」376部含む
12月号	1,200	
1月号	1,400	
2月号	1,800	
3月号	1,900	「ふれあい特集号」393部含む
合 計	16,800部	(前年度17,100部)

2. 平成31年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題 名 「まあるく まあるく」
作 者 〈絵と文字〉高橋 じゅんこ（デザイン書道作家・イラストレーター）
内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、
実行したいことを31日分の言葉にまとめ、暖かで華やかな文字と絵を添えて制作した。
体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
印刷部数 16,500部(宣伝用含む)
第1回納品－7月18日、第2回納品－9月5日

(2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	66	2,255
予 定 表 付	26	160
無 地	34	428
注文名入れ印刷	53	11,190
合 計	179件	14,033部
前年度合計	195件	14,598部

※ 9月11日～9月13日

修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下11社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,100部(2頁～6頁)を発行し(NO. 117～127)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「web かわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

(1) 利用状況

〈別表-14〉

ア. SYD主催講習会等

回 数 19回（前年度19回）

利用者数 1,312名（前年度1,474名）

イ. 受託講習会等

回 数 23回（前年度20回）

利用者数 1,334名（前年度1,097名）

ウ. 一般研修会等

回 数 18回（前年度18回）

利用者数 984名（前年度904名）

2. ばんだいふれあいびあ

（１）利用状況

〈別表－15〉

利用回数 33回（前年度33回）

利用者数 791名（前年度913名）

延べ利用者数 2,233名（前年度2,772名）

（２）施設整備等

回数	期 日	スタッフ 参 加 者	備 考
1	6月		「センター棟」屋根の補修工事
2	8月27日(月)～28日(火)	谷野渉 参加者2名	キャンプ場テント整備
3	10月17日(水)～21日(日)	谷野渉	キャンプ場テント整備
4	10月20日(土)～21日(日)	板倉和也 谷野渉、参加者9名	キャンプ場テント整備
5	1月10日(木)～11日(金)	佐藤雄喜	関係先挨拶まわり

3. 修養団SYDビル

（１）SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回 数 168回（前年度173回）

利用者数 23,150名（前年度23,010名）

イ. SYD会議室（16階）

回 数 50回（前年度56回）

利用者数 990名（前年度1,080名）

（２）施設の整備等

SYDホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等を行った。

- ・ホール発電機塗装工事（3月）
- ・ホール壁他塗装工事（6月）
- ・ホール机緩衝材交換工事（6月）
- ・ホールスクリーン電動化粧扉ワイヤー交換工事（6月）
- ・ホール入口横外壁笠木修繕工事（7月）
- ・ホール補助熱源修理工事（10月）

4. 関西会館

テナント（1階、2階部分）の適正管理を行った。

その他

IX. 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体への委員等の就任

- | | | |
|------------------|-----|------|
| ・社会教育団体振興協議会 | 会 長 | 御手洗康 |
| 〃 | 幹 事 | 久世郁夫 |
| ・(独) 国立青少年教育振興機構 | | |
| ミクロネシア事業総合評価委員会 | 委 員 | 久世郁夫 |

2. 諸会議等への出席

(1) 社会教育団体振興協議会

ア. 第1回幹事会

開催日 5月8日(火)
会 場 SYD会議室
出席者 7名(御手洗康、久世郁夫)

イ. 「平成30年度総会」「第45回社会教育関係者懇親の集い」

開催日 6月27日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
出席者 35名・50名(御手洗康、久世郁夫、島田透)

ウ. 第2回幹事会

開催日 平成31年1月22日(火)
会 場 SYD会議室
出席者 12名(御手洗康、久世郁夫)

エ. 第33回文部科学省と語る会

開催日 平成31年3月13日(水)
会 場 文部科学省講堂(東京都千代田区)
出席者 40名(御手洗康、久世郁夫、保坂正志)

X. 表 彰

1. 第13回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・学校へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国36都道府県から93件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催と受賞団体

開催日 12月17日(月) 11時～13時30分

会場 SYD会議室

出席者 選考委員 6名 (△＝欠席者)

仲野 好重(一般財団法人人間塾代表理事)

長沼 豊(学習院大学教授)

松澤 宏尚(全日本中学校長会事務局長)

△山田 一功(社団法人ひかりの里理事長、公益社団法人日本PTA
全国協議会元副会長)

御手洗 康(修養団理事長)

山崎 一紀(修養団主幹)

青木 富造(修養団常務理事)

職員 3名

岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子

文部科学大臣賞 1点

多摩市立東落合小学校 ゴミ出しボランティア (東京都)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】北九州市立霧丘中学校 特別支援学級

「econnect project」 (福岡県)

【高校生部】宮城県名取北高等学校 奉仕活動部 (宮城県)

【大学・一般部】BLUE WALK (愛知県)

特別賞 2点

名古屋市立工芸高等学校 WEB部 (愛知県)

名城大学 ボランティア部 (愛知県)

(3) 贈呈式 *「全国青年ボランティア・フェスティバル」の中で開催

開催日 平成31年2月10日(日) 15時～16時

会場 SYDホール

出席者 139名(受賞関係者22名、来賓2名、全国青少年ボランティア・フェスティバル参加者32名、きらめきメッセージ全国コンクール(審査員含む)45名、青春パフォーマンス出演者1団体20名、一般18名)

内容 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室室長の平川康弘様より来賓祝辞と文部科学大臣賞・副賞の贈呈、選考委員の学習院大学教授の長沼豊様より選考経過を報告、御手洗理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者からの活動発表がおこなわれた。

2. 平成30年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】 大澤 君一(福島県)、牧原 満男(東京都)

【特別賞】 蓮沼賞：有馬 咲子(福岡県)

【表彰】 個人：5名

【感謝状】 個人：31名 団体：8団体

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) 第1回理事会

期 日 5月17日(木)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：10名、監事：2名、主幹：1名
欠席者 理事：3名
議 題 ア. 平成29年度事業報告について
イ. 平成29年度収支決算について
ウ. 理事・監事の改選について
エ. 平成30年度上期慰労手当の支給について

(2) みなし決議に関する理事会

期 日 6月1日(金)
出席者 理事：13名、監事：3名
議 題 ア. 理事長、専務理事、常務理事の互選

(3) 第2回理事会

期 日 12月21日(金)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：11名、監事：2名、主幹：1名
欠席者 理事：2名
議 題 ア. 2019年度基本方針・事業計画大綱について
イ. 2019年度予算大綱について

(4) 第3回理事会

期 日 平成31年3月25日(月)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：9名、監事：2名、主幹：1名
欠席者 理事：4名
議 題 ア. 2019年度事業計画について
イ. 2019年度収支予算について
ウ. 定時評議員会の招集について
エ. 評議員選定委員の選任と評議員選定委員会の開催について
オ. 次期評議員候補者の推薦について

(5) 事業経過報告書と収支月報の送付

9月14日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. 第8回評議員会

期 日 6月1日(金)
会 場 SYD会議室
出席評議員 8名 欠席評議員 5名
議 題 ア. 平成29年度事業報告並びに収支決算について
イ. 平成30年度事業計画並びに収支予算について

- ウ. 平成31年度事業計画への要望について
エ. 理事・監事の選任について

3. 後援会役員会

期 日 6月20日(水)
会 場 SYD会議室
出席者 6名(常任幹事:5名、監事:1名)
本部役職員 5名

4. 弔事

(1) 物故団員・同志ご芳名

神奈川県	山崎 泰 殿	6月19日	元修養団監事
千葉県	山口 寛 殿	6月26日	修養団東京都連合会事務局長
千葉県	岩田 佑夫 殿	8月21日	元修養団千葉県連合会理事長
神奈川県	岡本 仁 殿	9月17日	修養団参与
群馬県	真下 昭平 殿	11月23日	名誉団員、修養団群馬県連合会会長
広島県	折出二三雄 殿	平成31年2月25日	前修養団広島県連合会会長
北海道	中西 務 殿	2月26日	前修養団美幌会事務局長

(2) 物故同志慰霊の集い

7月13(金)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

5. その他

6月20日 在団理事会
7月 6日 上期慰労手当支給
10月22日 在団理事会
12月 4日 下期慰労手当支給
3月 4日 在団理事会

平成30年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成31年3月

公益財団法人 修 養 団

後援会活動報告

平成30年度後援会活動は、6月20日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は12,000,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始した。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、新日鐵住金（現：日本製鉄）、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越コーポレーション、東芝等々法人会員97社、個人会員138名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,620,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,336,642円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

（敬称略）

（1）新入会員〈法人会員 2社〉

（福島県）㈱マルトグループホールディングス

（福井県）㈱ジャクエツ

（2）逝去会員〈個人会員3名〉

（群馬県）真下昭平（福岡県）石井 博（佐賀県）古賀克幸

（3）退会会員〈個人会員12名〉

（新潟県）山屋リイ（三重県）杉山佐知子、杉山砂秀、杉山悟志、杉山芳哉、中村小百合、若宮一哉（大阪府）新津谷 徹、横田和子、飯島秀雄（福井県）上野清治（熊本）山内隆雄

2. 募金活動

（1）募金目標・募金実績（単位・円）

〈募金目標〉

法人会費 10,000,000円

個人会費 2,000,000円

合 計 12,000,000円

〈募金実績〉

法人会費 9,170,000円

個人会費 1,450,000円

合 計 10,620,000円

（2）募金方法

ア. 文書活動

6月20日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月下旬より募金活動を開始。平成30年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

3. 広報活動

（1）修養団機関誌『向上』6月号に平成29年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成30年度のお願いをした。

（2）『向上』（平成30年度5月号より1年間）及び平成31年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月20日(水) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 常任幹事 伊与部恒雄、板垣和彦、北原 央、守屋邦晴、山口洋二

監 事 芳賀 律 (新海一正監事代理)

修養団 御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、岩佐加寿子

議 事

ア. 平成29年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成30年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ. 平成29年度修養団主要事業報告並びに平成30年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 収支報告 (4月1日～平成31年3月31日まで)

(単位:円)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,170,000 (97 社)	9,160,000 (98 社)
	〃 (個人)	1,450,000 (138 名)	1,724,500 (158 名)
	そ の 他 の 収 入		
10,336,642	修 養 団 後 援 金		
8,268	旅 費		
8,640	印 刷 費		
84,116	通 信 運 搬 費		
135,900	消 耗 品 費		
33,264	会 議 費		
13,170	雑 費		
10,620,000	合 計	10,620,000	10,884,500